

# 第1学年社会科学学習指導案

日 時 平成29年11月8日(水) 6校時  
場 所 山田町立山田中学校 1年2組教室  
学 級 1年2組(男子15名、女子15名、計30名)  
指導者 教諭 佐藤 晶絵

## 1 単元名 世界の諸地域 4節 北アメリカ州

### 2 単元について

#### (1) 教材観

本単元は、中学校学習指導要領地理的分野、内容(1)世界の様々な地域のウ「世界の諸地域」において、「世界の諸地域について、各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、それを基に主題を設けて、それぞれの州の地域的特色を理解させる」ことをねらいとしている。

前章「世界各地の人々の生活と環境」では、世界には様々な気候があることや、地域ごとの気候に即した生活の仕方や文化の違いを学ぶ。本章「世界の諸地域」では、前章で学んだ自然環境の特色をふまえながら州ごとに主題を設定し、各州の特色を資料から読み取り、表現していく。「北アメリカ州」では、アメリカ合衆国を中心とした自然環境や生活、文化、歴史を学んだうえで、北アメリカ州の農業・工業がともに世界を牽引する大きな影響力があることを学習する。特にアメリカ合衆国の生活や文化については、アメリカ発祥のものがすでに世界中に浸透し、生徒の生活経験にも深く結びついている。グローバル化が進み、外国との関わりなしに政治や産業の発達は進まない現代において、世界をリードする地域について学ぶことができる単元である。

#### (2) 生徒観

地理的分野の学習で、生徒は世界の陸と海洋の位置や表し方や、世界の様々な気候を学習している。さらに、気候の違いは赤道からのおおよその距離や地形が関係していることを理解し、世界各地の人々は気候に応じて工夫した生活を送っていることを主題図や写真資料から読み取る学習を重ねてきた。

学習課題を解決するために意欲的に授業に取り組む生徒が多いが、一方で資料を見て分かったことを自分の言葉で表すことを苦手とする生徒もいる。グループ学習で分かったことを共有し、それぞれが自分なりの言葉で表現することができるように支援していきたい。

#### (3) 研究主題との関わり

生徒指導の三機能については、自己決定の場を与える場面として、毎時間設定する課題に対する予想を記述する場を設定してきた。また、自己存在感を与える手立てとして、予想を発表したり、グループで検証した資料からわかったことを全体場で発表する場を設定してきた。

提示した課題に対して予想をたて、資料を基に検証し、わかったことをまとめるというサイクルをつくり、終末に授業で分かったことを自分の言葉で記述する「振り返り」を行う。

### 3 単元の目標

- (1) 北アメリカ州の農業と工業の特徴を、主題図や写真などの資料の読み取ることができるようにする。
- (2) アメリカ合衆国の産業や文化が、世界中に広まり、影響を与えていることを理解させる。

### 4 単元の評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用 of 技能	社会的事象についての知識・理解
世界の諸地域の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	世界の諸地域の地域的特色を、アジア、ヨーロッパ、アフリカ、北アメリカ、南アメリカ、オセアニアの各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる主題を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	世界の諸地域の地域的特色に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	世界の諸地域について、アジア、ヨーロッパ、アフリカ、北アメリカ、南アメリカ、オセアニアの各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる主題を基に地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。

### 5 単元の指導計画・評価計画（本時3／5）

時	学習内容	目標	評価の観点				評価規準
			関	思	技	知	
1	北アメリカ州の地形を地図帳で調べ、様々な気候帯があることを理解する。	北アメリカ州の地形や雨温図から、自然環境の特徴を説明できる。	○			○	北アメリカ州の国や自然環境について地図帳を使って積極的に調べている（関）。 北アメリカ州の気候を、地形などと関連させながらとらえている（知）。
2	北アメリカ州の多様な民族構成について理解する。	北アメリカ州に多くの民族がいる理由を理解できる。				○	北アメリカ州の民族構成や歴史について理解している（知）。
3 本時	アメリカ合衆国の農業に関する資料から、アメリカ合衆国の農業の特徴を考える。	アメリカ合衆国の農業の特徴を、複数の資料から読み取り説明できる。		○	○		アメリカ合衆国の農業の特徴を、資料から読み取っている（技）。 アメリカ合衆国と日本の農業の違いを説明している（思）。

4	アメリカ合衆国で先端技術産業が盛んになった理由を考え、工業の発展について理解する。	アメリカ合衆国で先端技術産業がさかんな理由を、複数の資料から読み取り説明できる。		○	○	アメリカ合衆国の工業の特徴を、鉱工業の分布図から読み取っている(技)。 アメリカ合衆国の工業の変容を説明している(思)。
5	アメリカ合衆国の生活や文化について知り、世界にどのような影響を与えているのかを考える。	アメリカ合衆国発祥のものを考え、世界中に広がっていることを理解する。	○			アメリカ合衆国発祥の生活や文化が世界中に広がっていることを説明している(関)。

## 6 本時の指導

### (1) 本時の目標

農業分布や耕地面積などの資料の読み取りを通して、アメリカ合衆国の農産物が安い理由を考え、表すことができる。

### (2) 本時の指導構想

本時の導入では、アメリカ産と日本産の小麦粉と牛肉を提示し、価格の違いを比較させることで、なぜそうなるのか関心をもたせ、資料で検証するという見通しを持たせる。

展開の検証では、アメリカ合衆国と日本の農業の違いを、写真だけでなく、数字のデータからも指摘し、文章で表せるように支援したい。また、企業的な農業を行い、気象データや遺伝子組み換えなどの先端技術を応用して生産を行っていることなどについてもふれ、世界に大きな影響を与えていることも学ばせたい。

終末では、まとめを空欄補充形式で書かせ、大切な言葉等を確認してから、あらためて授業で学んだことを簡潔に「振り返り」で記述できるように支援したい。

### (3) 評価規準

- ・アメリカ合衆国の農業の特徴を、資料から読み取っている(技)。
- ・アメリカ合衆国と日本の農業の違いを説明している(思)。

(4) 展開

段階	学習内容	生徒の学習活動	教師の評価(○)・支援・留意点
導入 8分	1 アメリカの農業分布図の確認	見 通 し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業分布図を見て、生産される農作物が気候や地形によって異なることを確認する。</li> <li>・アメリカ産の農作物の方が価格が安いことを確認する。</li> </ul>
	2 アメリカ産と日本産の農産物の価格を比較。		
	3 学習課題の設定		
なぜ、アメリカ産の農産物は安いのか。			
展開 30分	4 予想	見 通 し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考えられる予想                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○耕地面積が広いから。</li> <li>○アメリカ合衆国が世界の中心だから。</li> </ul> </li> <li>・グループで「フィードロットの写真」や「耕地面積や農業従事者数」の資料から、価格が安い理由を読み取る。</li> <li>・グループ学習で分かったことを全体で交流、確認する。</li> <li>・作物の生産から加工、販売まで専門的に農業を扱うアグリビジネス企業について確認する。</li> </ul>
	5 資料の読み取り		
	6 わかったことの確認、共有		
7 アメリカ合衆国の先進的な農業の概要の確認			<ul style="list-style-type: none"> <li>・予想がかけた生徒には声をかけ、全体での発表につなげさせる。【存在】</li> <li>・予想を考える視点を与える。【決定】</li> <li>○日本に比べて、1人当たりの耕地面積が広いこと、農地が広大であることを資料から読み取っている。(技)</li> <li>○アメリカ合衆国の農業の特徴を説明している。(思)</li> <li>・農業関連のさまざまな分野を手掛ける企業の存在を説明する。</li> <li>・農産物が安いとどんな影響があるのか説明する。</li> </ul>
終末 12分	8 まとめ	振 り 返 り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカ合衆国では、広い1人当たりの耕地面積を大型の機械を使いながら効率よく作物を栽培しているため、農産物の価格が安い。</li> <li>・アメリカ合衆国の農業の特徴を記述する。</li> </ul>
	9 振り返り		
<b>【「振り返り」文例】</b> アメリカ合衆国では、肉牛や小麦など様々な農産物を生産しているが、広い土地を生かしているため、安く生産することができる。			

【決定】：自己決定の場を与える手立て    【存在】：自己存在感を与える手立て    【共感】：共感的な人間関係を育成する手立て